

切実な思いや願いを抱く 探究的な学び ～そば粉の副産物を活用した商品開発～



奈川中
インスタ



何が 探究のサイクルを 回すのか？



生徒は常に「何のための活動か」と自らに問い、その度に出会いの場面で刻まれた目的・願いに返っていく。

「そばを愛しているならば、
2番粉も愛さなければ」H生



<出会いの場面>

！ 2番粉年間8kg廃棄

！ 山彩館からの「依頼状」



教師に題材終末までの見通しができない中で 探究の授業はできるのか？

<生きた 探究>

新しい地域で新しい素材を探す教師の探求・・・

- ・ 学校を飛び出して地域の中や専門家のもと等様々な場所に足を運ぶ教師。
- ・ 生徒の姿を見ながら教材研究をし直したり、構想を立て直したりする教師。
- ・ 商品開発者になる＝対象に働きかけ、自らのからだで得た実感を頼りに考える生徒。
- ・ 意図せずに A生がチュロスを試作し、K生が2番粉を家に持ち帰り、生地にも米粉を混ぜてみる。

<本物の 探究>

現実の社会にある課題 に答えはない・・・

- ・ 商品化には程遠い試作品の数々、観光客の方からの辛口のアンケート、現実の社会の厳しさも引き受ける。
- ・ 「ご迷惑にならない範囲」の協力ではない。奈川のため生徒のために地域も全力！
- ・ 製材所のパン屋さん、うす焼き豆まめ、ユーザー大西さん(おやきもち)による商品開発が進み、2番粉を1kg1,000円で販売することに。

課題がどんどん出てきて、でもそれを乗り越えていくのが楽しかった。K生



切実な思いや願いを抱く 探究

→ 教師と生徒と地域の方が共につくる 生きた・本物の探求